

ユーシン

景況レポート

Number.126
(2025.10~12月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業228企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

概況(10月▶12月期)

業況は不動産業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△10.9と、7月~9月期(前期)の調査より△4.0ポイント低下し、景況感は悪化しました。

業種別では、不動産業で前期比+5.5ポイント改善しましたが、製造業で同比△2.8ポイント、卸売業で同比△3.4ポイント、小売業で同比△14.6ポイント、サービス業で同比△0.1ポイント、建設業で同比△2.7ポイントの低下となりました。

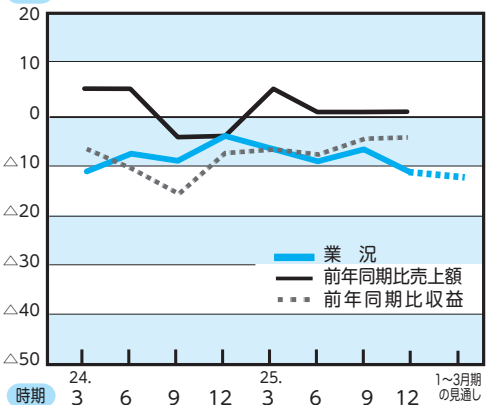
項目別では、売上額判断D.Iが△0.9で前期比+1.4ポイントの改善、収益判断D.Iは△4.8で同比△0.5ポイントの低下となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが1.4で前期比+0.1ポイント、同収益判断D.Iが△4.0で同比+0.8ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面では、人手過不足判断D.Iが△18.4で前期比△1.4ポイントの低下となり、人手不足感はやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは2.2となり、前期比横ばいとなりました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比横ばいとなりました。借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期と比べてやや減少しました。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が35.5%、「原材料高」が25.9%、「売上の停滞・減少」が25.4%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「2026年(令和8年)の経営見通し」について、貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますかとの質問に対し、やや悪いと回答した事業者が42.1%と最も多い結果となりました。

◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

全業種総合 主要指標の推移



3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期) 業況の見通し判断D.Iは△11.5、当期実績比△0.6ポイント低下の見込

来期は、小売業、サービス業、不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△2.2ポイント、収益判断D.Iが同比△0.5ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△1.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+1.7ポイント改善の見込み、残業時間判断D.Iについては同比△2.7ポイント低下の見込みとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が58.8%、「販路を広げる」が38.2%、「人材を確保する」が23.2%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

業種名	時期	7年7月~9月	7年10月~12月	8年1月~3月見通し	概	要
総合					業況判断D.Iは、△4.0ポイント低下し△10.9。来期は、△0.6ポイント低下し△11.5の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、△2.8ポイント低下し△16.7。来期は、△4.1ポイント低下し△20.8の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、△3.4ポイント低下し△3.4。来期は、△3.2ポイント低下し△6.6の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、△14.6ポイント低下し△26.8。来期は、+2.4ポイント改善し△24.4の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、△0.1ポイント低下し△9.7。来期は、+3.3ポイント改善し△6.4の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、△2.7ポイント低下し11.2。来期は、△0.1ポイント低下し11.1の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、+5.5ポイント改善し△11.1。来期は、+5.5ポイント改善し△5.6の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】

10~12月の実績	8.3	66.7	25.0
1~3月の見通し	4.2	70.8	25.0

【売上額】

10~12月の実績	13.9	68.0	18.1
1~3月の見通し	6.9	75.0	18.1

【原材料価格】

10~12月の実績	27.8	72.2	0.0
1~3月の見通し	19.4	80.6	0.0

【収益】

10~12月の実績	8.3	76.4	15.3
1~3月の見通し	4.2	76.3	19.5

■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△16.7、前期比△2.8ポイントの低下



項目別では、売上額判断D.Iが△4.2で前期比+6.9ポイント、収益判断D.Iが△7.0で同比+5.5ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△7.0で前期比+1.3ポイント、同収益判断D.Iが△4.2で同比+4.1ポイントとなり、ともに改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.7で前期比+1.4ポイントの改善となり、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは4.2で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期12.7%）、「予定あり」が4.2%（同8.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.8%（前期2.8%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が43.1%、「売上の停滞・減少」が30.6%、「同業者間の競争激化」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

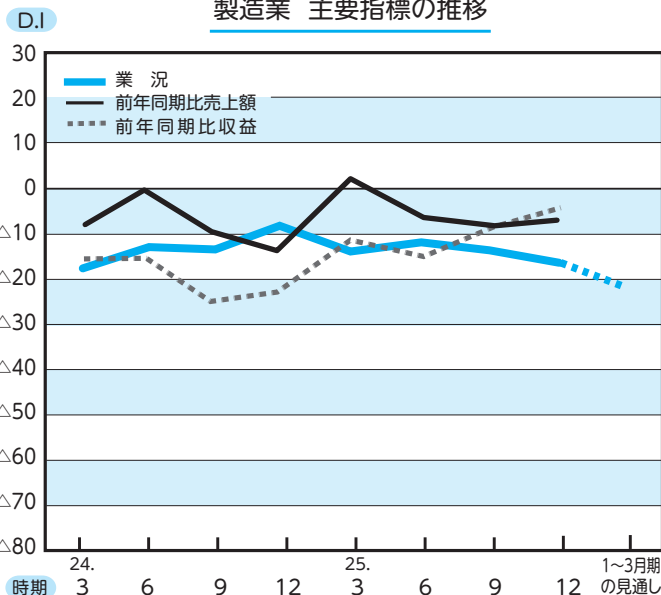
業況の見通し判断D.Iは△20.8、当期実績比△4.1ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△7.0ポイント、収益判断D.Iは同比△8.3ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.7ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+1.4ポイント改善の見通し、残業時間判断D.Iは同比△1.4ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が62.5%、「販路を広げる」が44.4%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



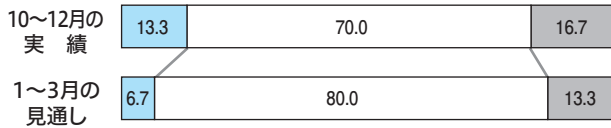
調査員のコメントから

- 生産設備設計・製造。大口工事の受注により、1月～3月は売上増加を見込む。来期も大口工事の受注を見込むが、人員の都合により、他の受注を制限せざるを得ない。

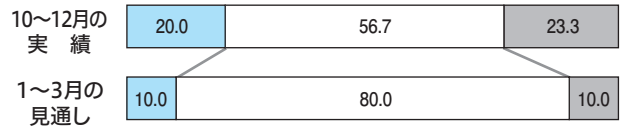
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

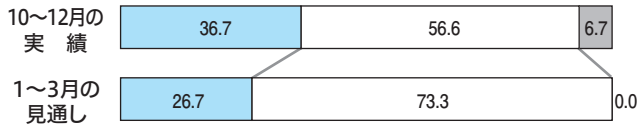
【業 況】



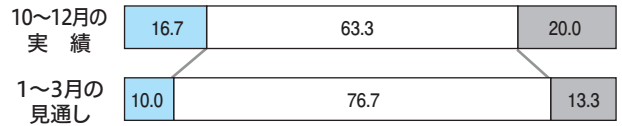
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△3.4、前期比△3.4ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△3.3で前期比△0.2ポイント、収益判断D.Iが△3.3で同比△0.1ポイントとなり、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが10.0で前期比+3.7ポイント、同収益判断D.Iが0.0で同比+3.2ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.0で前期比△0.6ポイントの低下となり、人手不足感はわずかに強まりました。また、前期比残業時間D.Iは3.3で前期比+0.2ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が20.0%（前期12.5%）、「予定あり」が6.7%（同9.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.3%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が43.3%、「仕入先からの値上要請」が33.3%、「売上の停滞・減少」が30.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

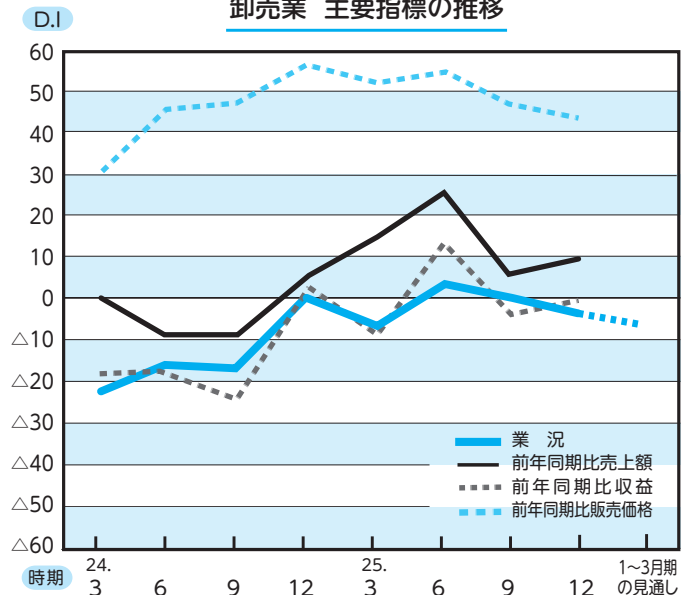
業況の見通し判断D.Iは△6.6、当期実績比△3.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+3.3ポイント改善の見込み、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△6.6ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が76.7%、「販路を広げる」が70.0%、「品揃えを強化する」が26.7%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



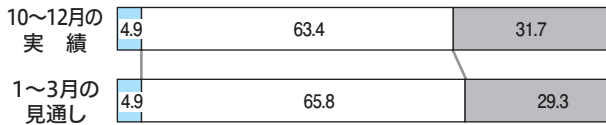
調査員のコメントから

- 建築資材卸売。木材価格高騰により厳しい状況が続いている。
- 菓子卸。外国人労働者を受け入れ人手不足は解消している。

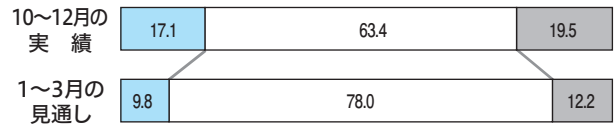
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】



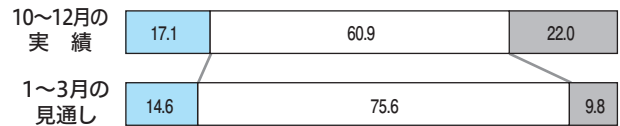
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△26.8、前期比△14.6%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△2.4で前期比△7.3%、収益判断D.Iが△4.9で同比△4.9%となり、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.1で前期比△9.7%の低下、同収益判断D.Iが△7.3で同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△26.8で前期比△4.9%の低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が4.9% (前期7.3%)、「予定あり」が0.0% (同0.0%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0% (前期5.0%) となりました。

経営上の問題点では、「大型店との競争激化」が36.6%、「売上の停滞・減少」が34.1%、「同業者間の競争激化」「利幅の縮小」「商圈人口の減少」が24.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

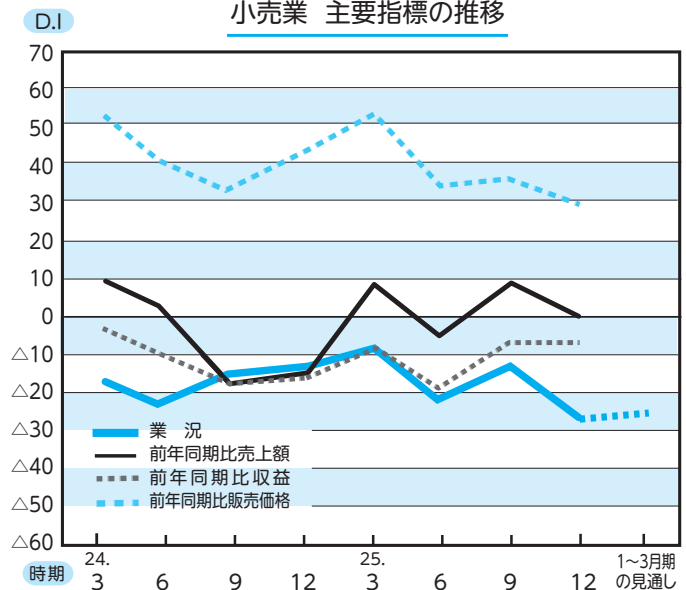
業況の見通し判断D.Iは△24.4、当期実績比+2.4%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比+9.7%の改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.5%の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+4.9%改善の見通し、残業時間判断D.Iは同比△4.9%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.3%、「品揃えを改善する」が34.1%、「宣伝・広告の強化」が22.0%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



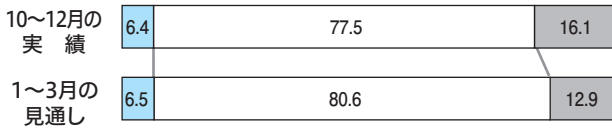
調査員のコメントから

- プラモデル販売。現在はインターネットでの販売がメインとなっており、定期的に売り上げが確保できている。

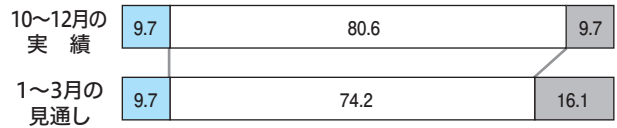
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

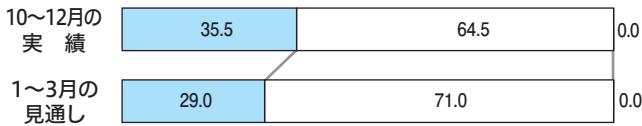
【業況】



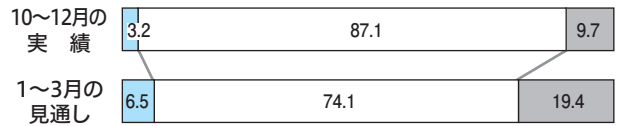
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△9.7、前期比△0.1の低下

項目別では、売上額判断D.Iが0.0で前期比+12.8、収益判断D.Iが△6.5で同比+3.1となり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△3.2で前期比+16.1、同収益判断D.Iが△12.9で同比+6.4となり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.8で前期比+6.4の改善となり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比+3.2改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期9.7%）、「予定あり」が6.5%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期6.5%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が45.2%、「人手不足」が25.8%、「材料価格の上昇」が22.6%、と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

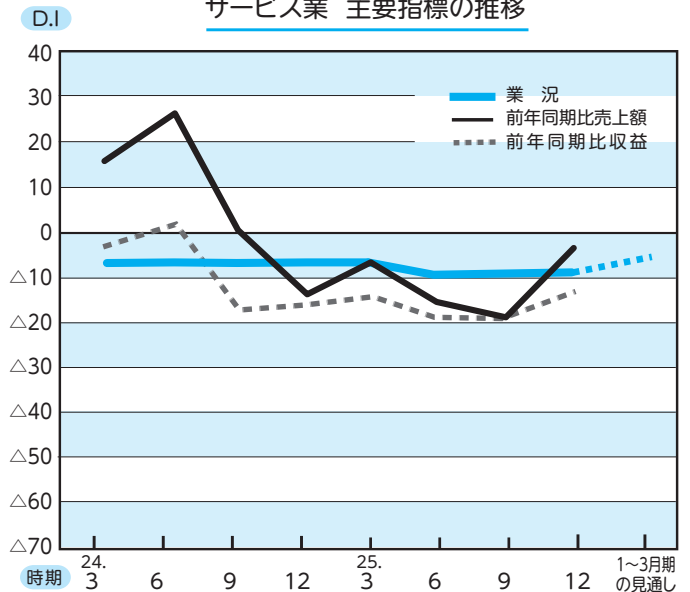
業況の見通し判断D.Iは△6.4、当期実績比+3.3改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△6.4、収益判断D.Iが同比△6.4と、ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△6.5の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通し、残業時間判断D.Iが同比△3.2の低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が41.9%、「経費の節減」が38.7%、「宣伝・広告の強化」が29.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



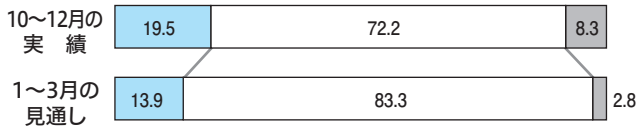
調査員のコメントから

- 運送業。従業員不足が当社の課題となっている。
- 旅行代理店。秋シーズンの予約が予想より順調に推移している。

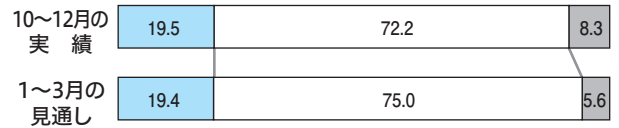
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

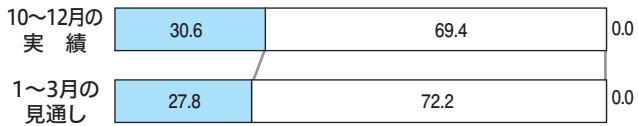
【業況】



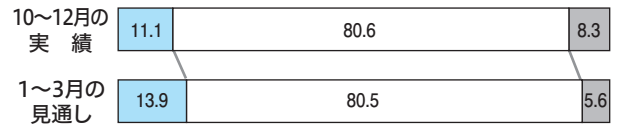
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは11.2、前期比△2.7ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが11.2で前期比△5.4ポイントの低下、受注残判断D.Iは11.1で同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.6で前期比△11.2ポイント、同収益判断D.Iが5.6で同比△8.3ポイントとなり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△27.8で前期比△11.1ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。前期比残業時間D.Iは5.6で前期比+2.8ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が13.9%(前期11.1%)、「予定あり」が8.3%(同8.3%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%(前期2.8%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が58.3%、「同業者間の競争激化」が41.7%、「人手不足」が36.1%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

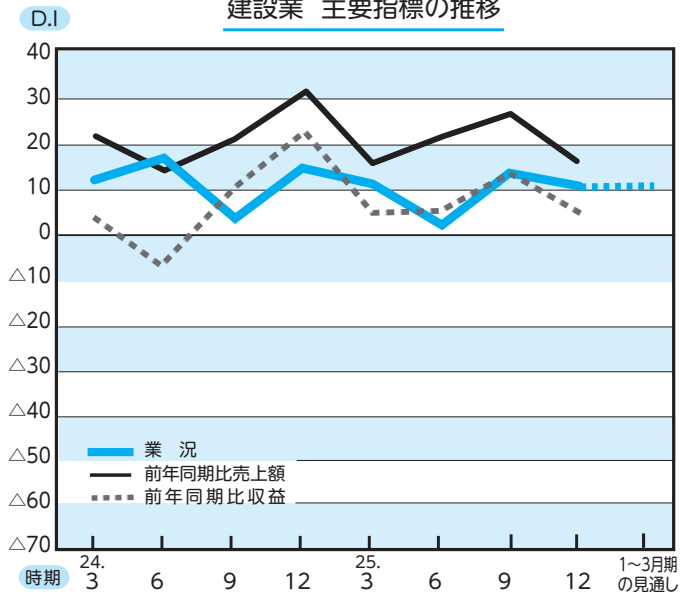
業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比△0.1ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+2.6ポイント、収益判断D.Iが同比+5.5ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△2.8ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+2.8ポイント改善の見通し、残業時間判断D.Iは同比△5.6ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.9%、「人材を確保する」が41.7%、「販路を広げる」が36.1%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移

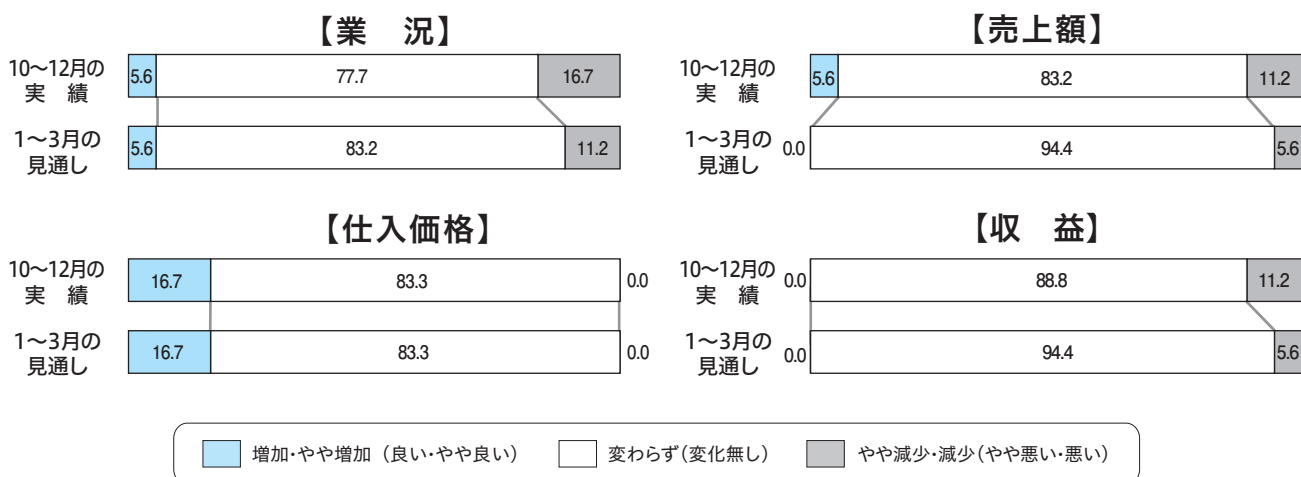


調査員のコメントから

- 来年にかけて住宅新築工事を複数確保しており、業況は順調に推移する見通し。
- 材料不足高騰、材料不足の影響を受けているが、受注状況は徐々に回復傾向にある。

■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)



景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比+5.5%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△5.6で前期比△5.6%、収益判断D.Iが△11.2で同比△11.2%となり、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0で前期比+5.6%の改善、同収益判断D.Iは△5.6で同比△5.6%の低下となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7で前期比横ばいとなり、人手不足感に変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは△5.6で前期比△11.2%の低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期16.7%）、「予定あり」が11.1%（同5.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が50.0%、「商品物件の不足」が22.2%、「売上の停滞・減少」「人手不足」が16.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

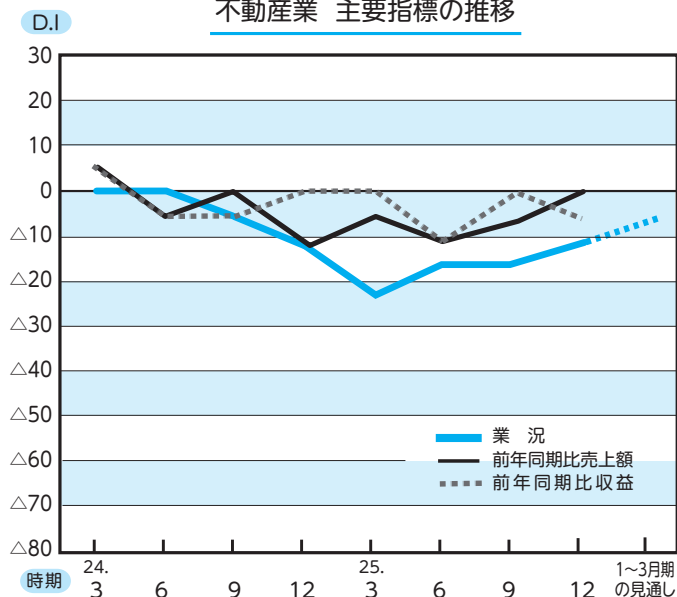
業況の見通し判断D.Iは△5.6、当期実績比+5.5%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比△5.6%の低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいの見通しとなっております。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっております。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が44.4%、「情報力の強化」が38.9%、「宣伝・広告の強化」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



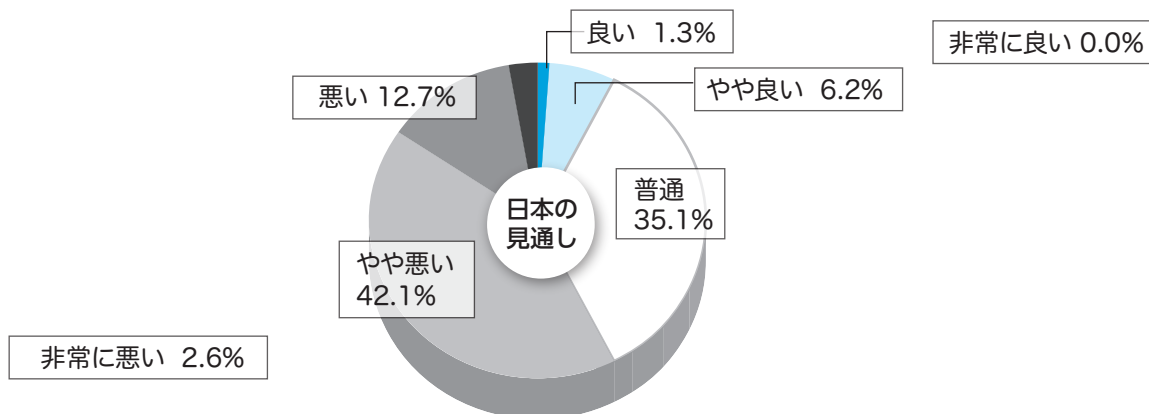
調査員のコメントから

- 不動産売買は停滞気味であるが、収益物件は入居率が高く順調に推移している。
- 需要に対し物件の確保が追い付いていない。今後は中古物件に更に注力する方針。

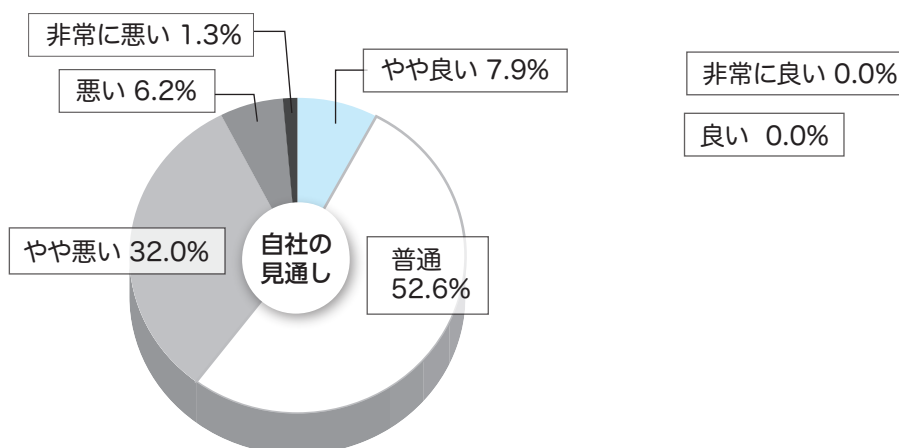
特別
調査

2026年(令和8年)の経営見通し

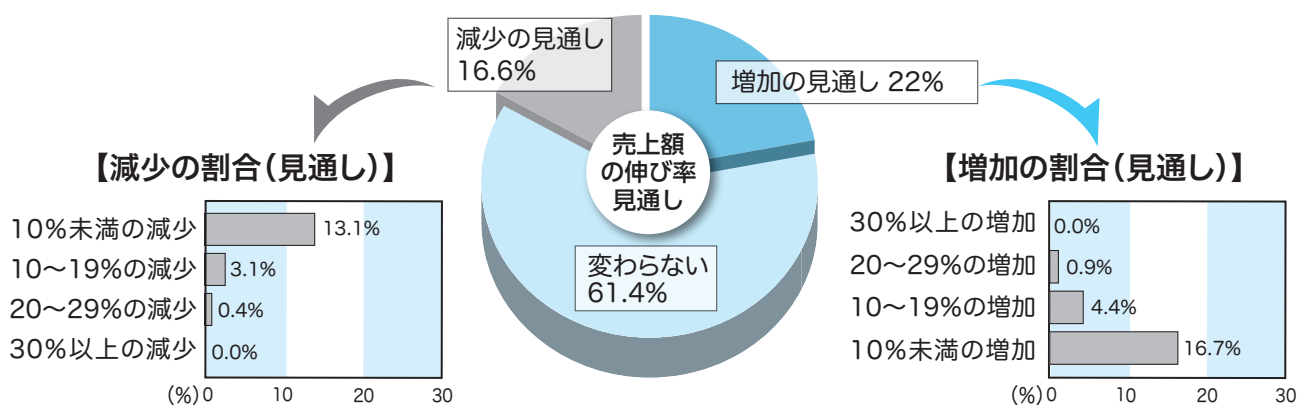
問1 貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。



問2 貴社では、2026年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

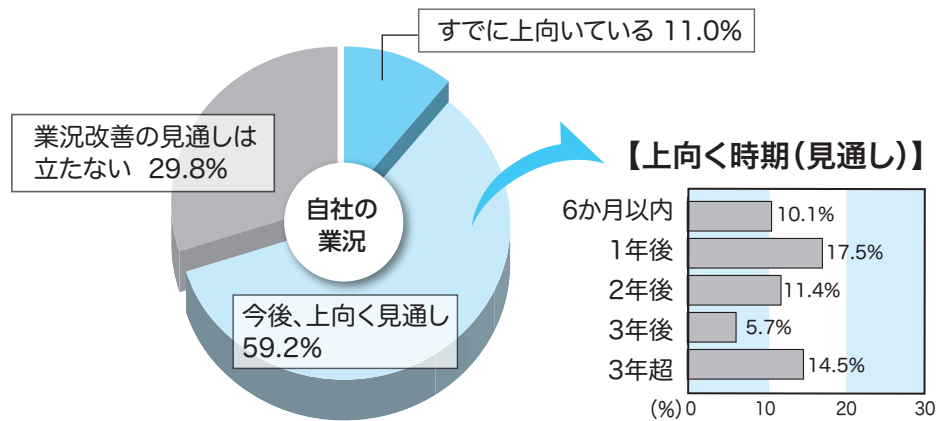


問3 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



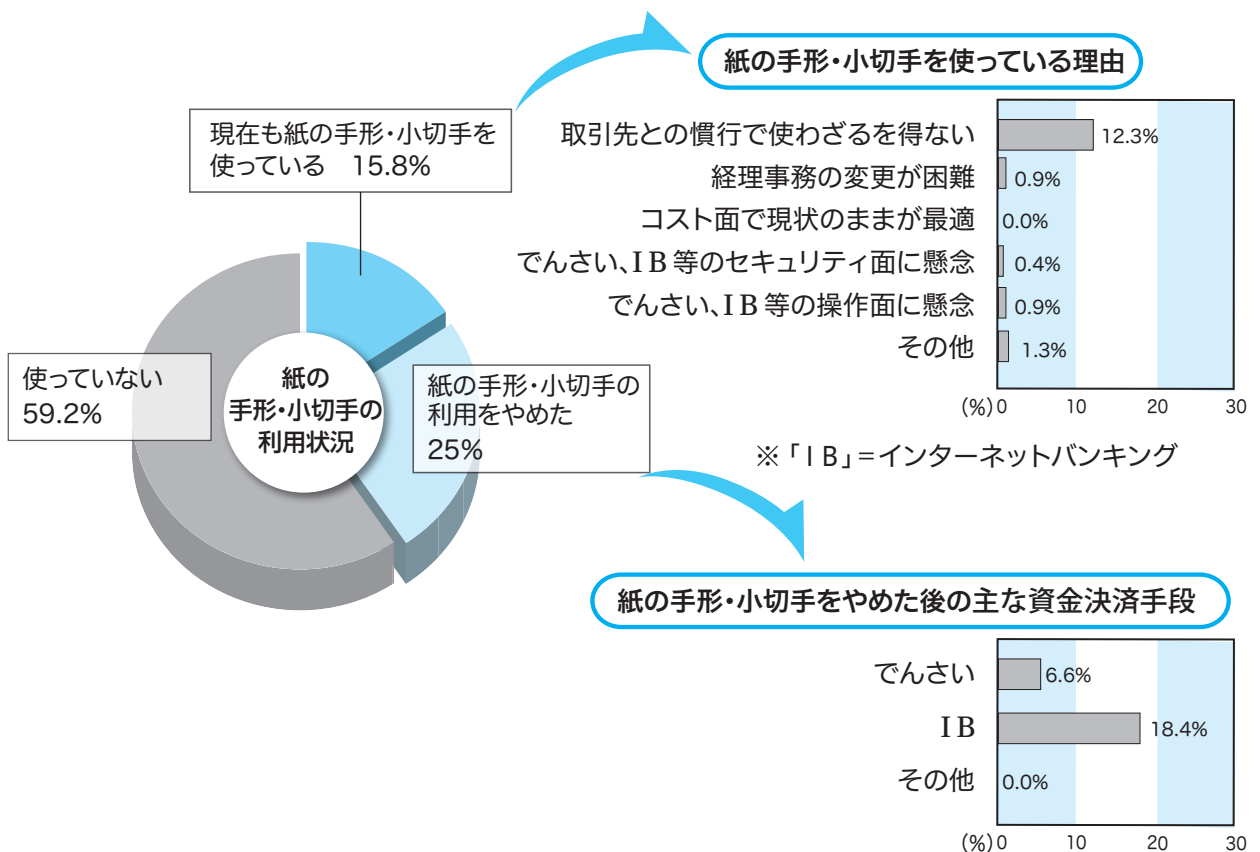
問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いいたします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。現在も使っている場合はその理由を、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段をお答えください。



明けましておめでとうございます

令和8年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして
精進してまいります所存でございます。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫

理事長 石塚 清博



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページ
にアクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている
提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、
各種ローンをご利用される場合、
特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50%

引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<https://www.shinkin.co.jp/yuki/>